

ヘルスケア・ニューフロンティア

Healthcare New Frontier

ヘルスケア・ニューフロンティアは、超高齢社会の到来という急激な社会変化を乗り越え、誰もが元気で長生きできる社会を目指す神奈川県が進めている政策プロジェクトです。

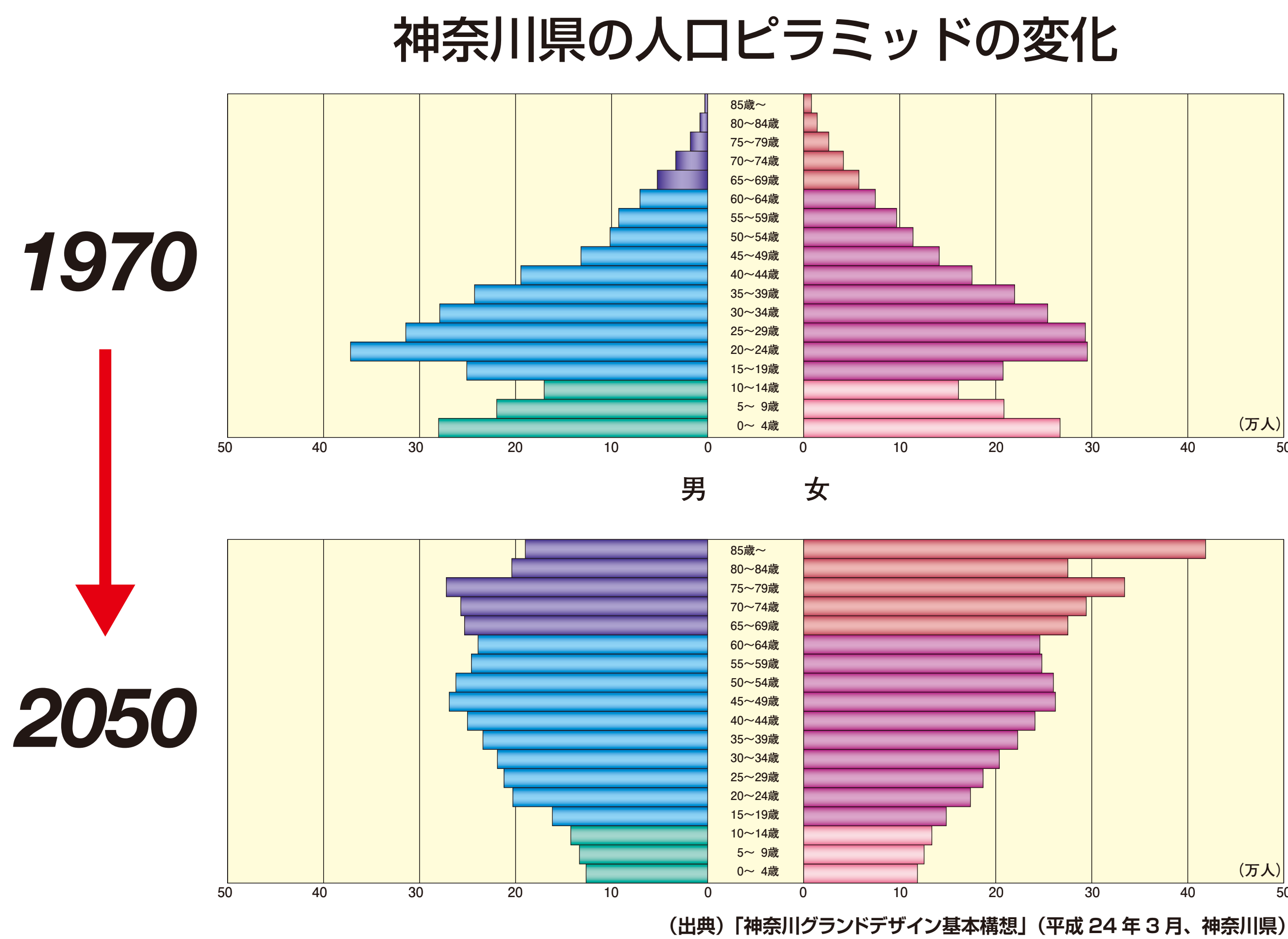
◆ 超高齢化という急激な人口構造の変化

日本は世界でも最も高齢化が進んでおり、特に神奈川県は全国でも一、二を争うスピードで進んでいます。

神奈川県の年齢別人口推移のグラフを見ると、1970年にはきれいなピラミッド型だったものが、2050年には逆向きになってしまふことがわかります。

このようなかつて経験したことのない人口構造変化が押し寄せる中で、社会システムを維持していくために何をすべきかが問われています。

こうした変化を乗り越えるためには、中長期的な改革が必要です。



◆ 超高齢社会を乗り越えるための2つのアプローチ

■ 最先端医療や最新技術の追求

iPS細胞のように、日本には世界をリードする基礎研究が多くあります。これを革新的な医療として実用化し、産業として育てます。その中心となるのが「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区」や「さがみロボット産業特区」です。

■ 未病の改善

「未病」は、ヘルスケア・ニューフロンティアの根幹となるコンセプトであり、心身の状態を「健康か病気か」といった明確に二つに分けられるものとしてとらえるのではなく、心身の状態は健康と病気の間で常に連続的に変化するものとしてとらえる考えです。

「未病の改善」とは、心身の状態の変化の中で、特定の疾患の予防にとどまらず、心身をより健康な状態に近づけていくことであり、神奈川県では現在の状態だけでなく将来の状態を良くしていくために「未病の改善」に向けて県民の皆様が「行動変革」を起こしていただけるような取組みを進めています。



健康寿命の延伸 新たな市場・産業の創出

3つの特区を生かし、国の成長戦略の先導的役割を担う。

